



2026年5月14日

各 位

会 社 名 ASTI株式会社
代 表 者 名 代表取締役社長 波多野淳彦
(コード番号 6899 東証スタンダード市場)
問 合 せ 先 経営本部総務部長 上野敏宏
(TEL 053-444-5111)

中期経営計画の策定に関するお知らせ

当社は、第68期である2031年3月期を最終年度とした中期経営計画（VISION2030）を策定いたしましたのでお知らせいたします。

なお、詳細につきましては、添付資料をご参照ください。

以上



V **2026年~2030年**
ISION 2030

**“Produce fine products
desired by Society”**

ASTI 株式会社

2026年5月14日

目次

Basic Principle 2 P

1. 重点事業 3 P ~ 7 P

2. 体制強化 8 P ~ 13 P

3. 2030年の生産体制 14 P

4. 数値目標 15 P

“Achieve high quality”

“Sustainable development”

“Technology First”

“International collaboration”

1 インド事業

2 EV 関連各種電子部品

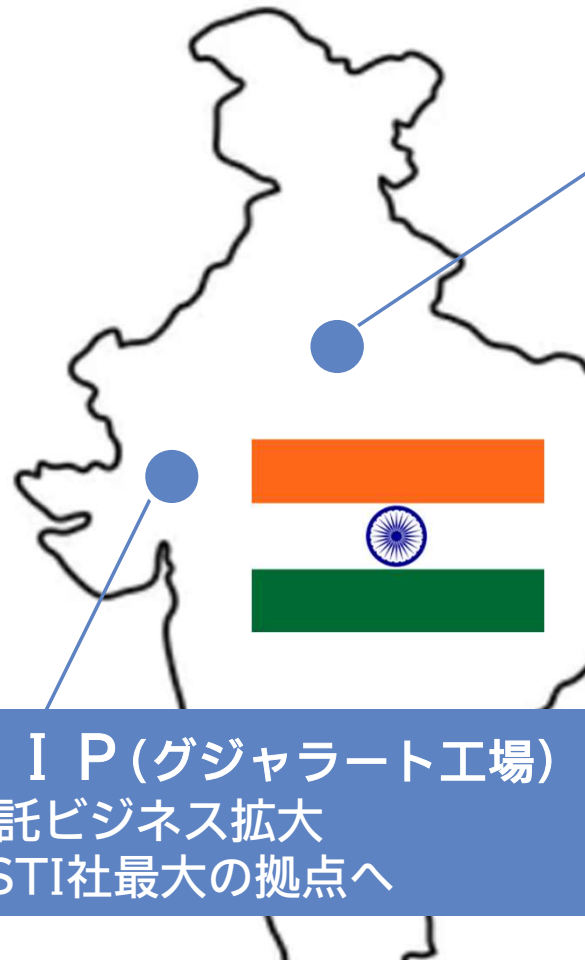
3 二輪車、船外機用ワイヤーハーネス

4 メディカル関係製品

1. 重点事業

1 インド事業

受託ビジネス製品



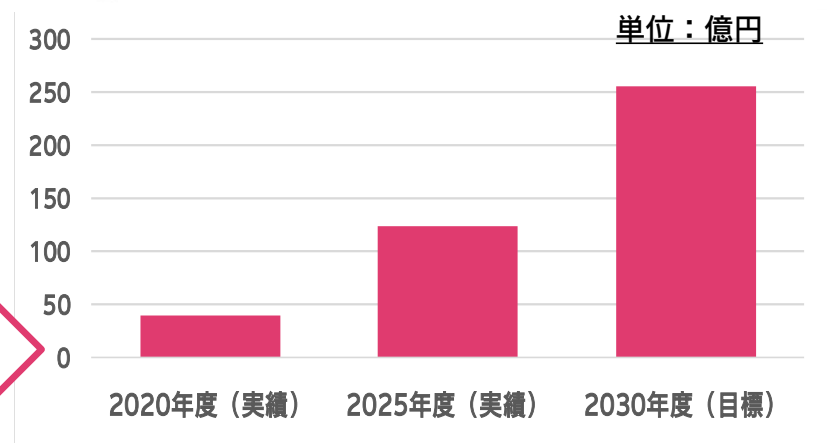
A E I (ハリアナ工場)
 2026年秋 新工場開設
 自社開発製品の製造・販売の拡大
 技術開発拠点として育成・発展

自社開発製品



A I P (グジャラート工場)
 受託ビジネス拡大
 ASTI社最大の拠点へ

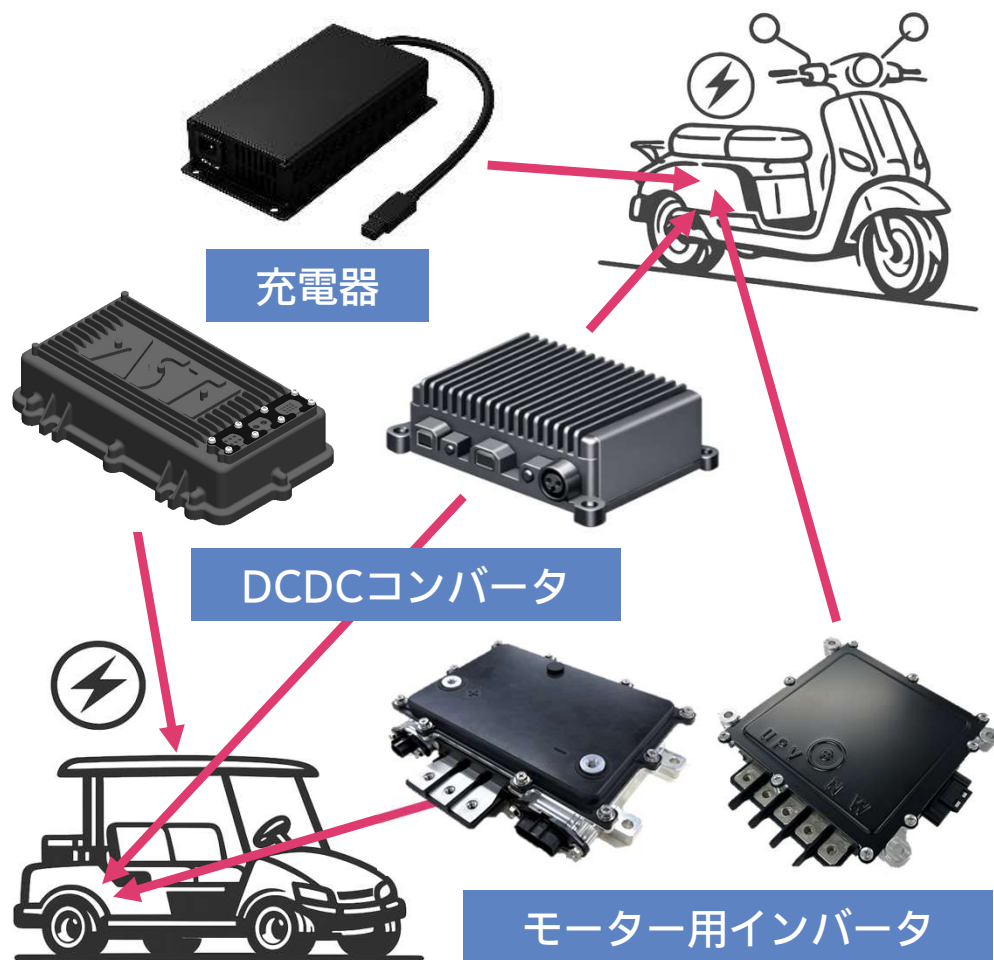
インドにおいて250億円の売上を達成する



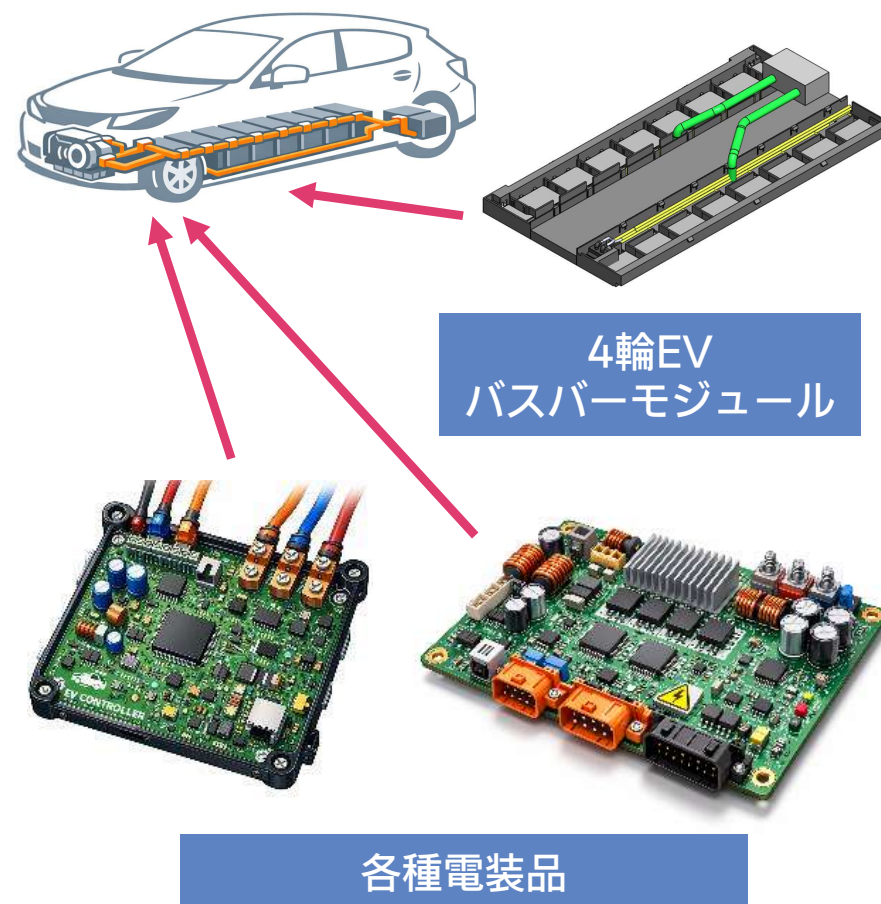
1. 重点事業

2 EV関連各種電子部品

自社設計製品



Tier1、Tier2



1. 重点事業



3 二輪車、船外機用ワイヤーハーネス

～オリジナル部品開発を加速させる～

船外機

量産開始



2023.5～
アースプレート
CuとAlの超音波接合



2021.5～

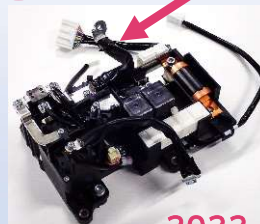
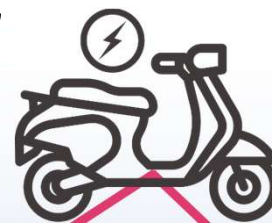


2022.3～

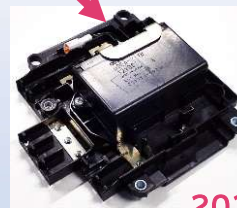
ターミナルブロック

EVバイク

量産開始



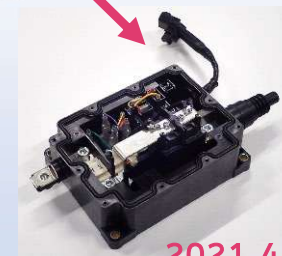
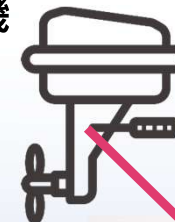
2022.3～



2021.8～

各種EVジャンクションブロック (リレーボックス)

船外機



2021.4～

オートバイ

特許取得



二輪用リレー&ヒューズボックス

ワイヤーハーネス



二輪車用



船外機用

1. 重点事業



4 メディカル関係製品

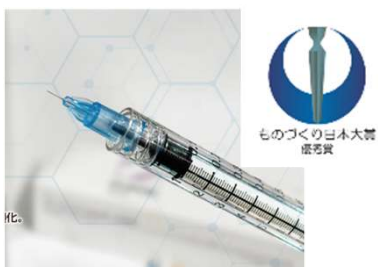
DDS医療機器

Multi type



*グローバル販売中

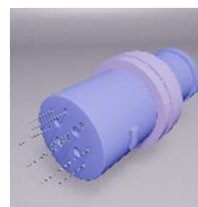
Low-dead type



～製品拡充とグローバル拡大に注力～



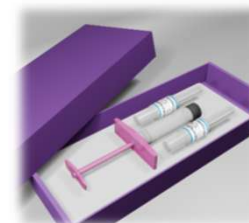
Ophthalmology



New DDS



Pharmaceutical kit



FY

2025

2030

Microneedles



Hollow Type

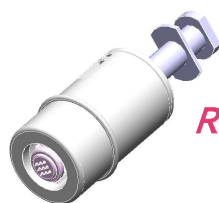
*開発中



Array Type

*量産開始

～用途開拓と製品化に注力～



Research



Cosmetic



Sensing

Skin Rejuvenation



Injection system

2. 体制強化



1

研究開発体制の強化

2

生産技術力の向上

3

情報システムの活用促進

4

認証制度の活用

5

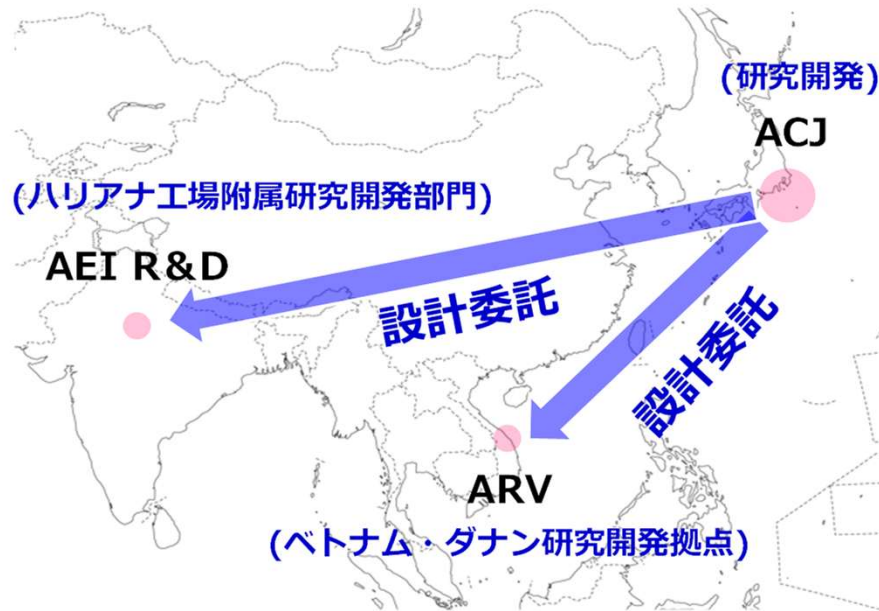
ダイバーシティ

2. 体制強化

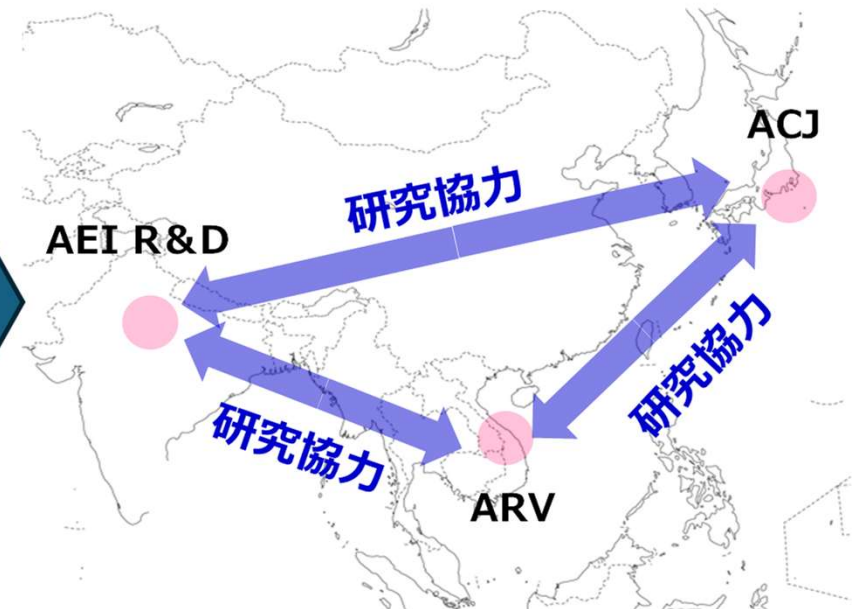
1 研究開発体制の強化

ベトナム・インドの研究開発体制を強化し、日本との水平分業を実現する。

現状



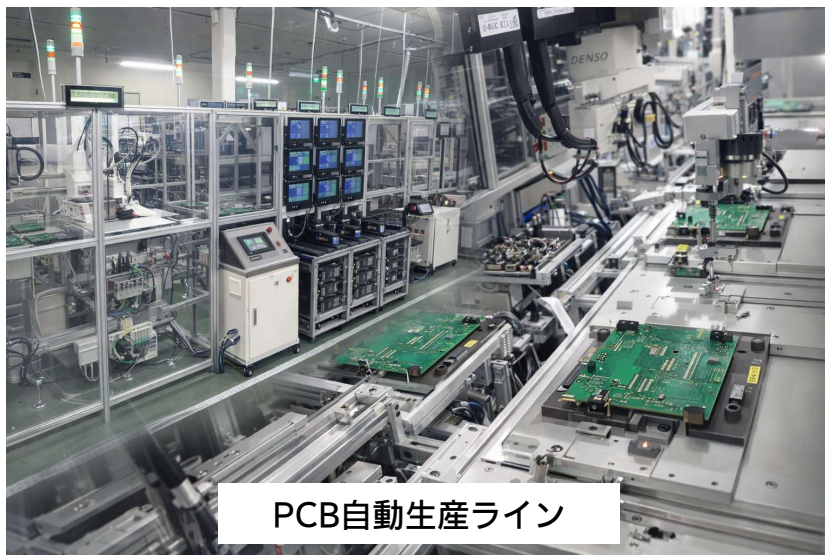
2030年の目標



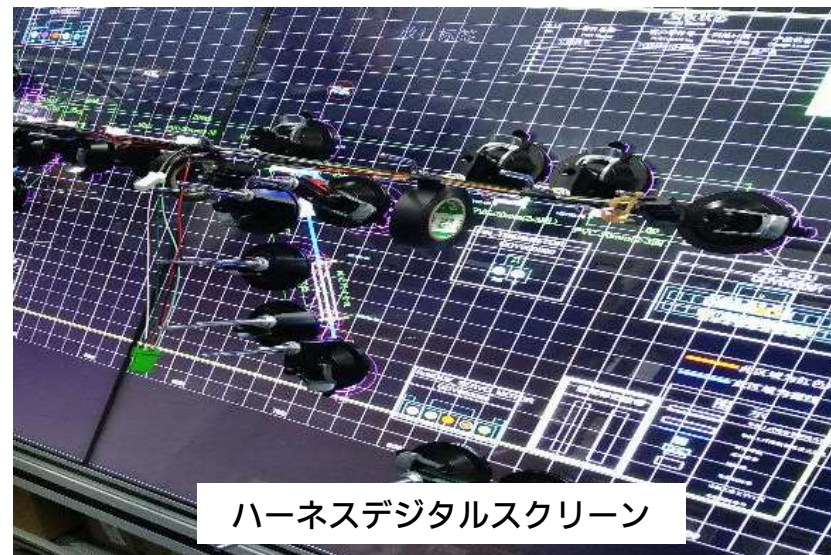
2 生産技術力の向上

- ①ベトナム・インドの生産技術力を抜本的に強化し、日本からの出張対応が不要な体制を構築する。
- ②自動化を推進し、省人化、合理化、省スペース化を自社設計設備で実現する。

電子機器事業



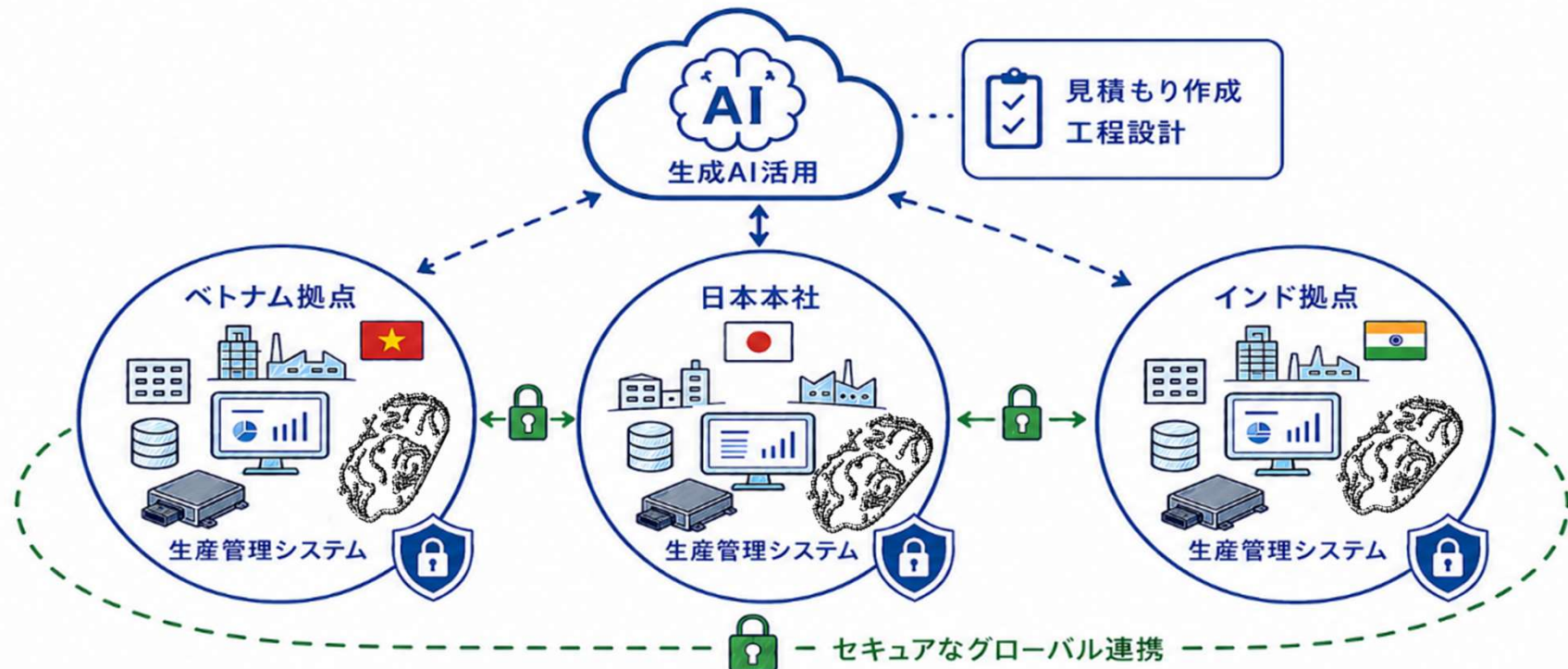
ハーネス事業



2. 体制強化

3 情報システムの活用促進

- 新生産管理システムへの移行
- 海外拠点との生産管理システムの連携改善
- サイバーセキュリティ対策強化
- AIの活用（見積もり作成、工程設計）



2. 体制強化



4 認証制度の活用

規格名称	規格概要	認証/適合	取得/適合時期
ISO9001	品質	認証取得	1999年
ISO14001	環境	認証取得	2002年
IATF16949	自動車品質	認証取得	2025年
ISO26262	自動車機能安全 (ASIL-B)	自己適合宣言	2020年
ISO21434	自動車サイバー セキュリティ	規格準拠適合	2025年
ISO13485	医療機器	認証取得	2019年

2. 体制強化

5 ダイバーシティ

性別、国籍等関係なく、能力に応じた処遇を行う

女性活躍

- ・ プラチナくるみん認定を取得する
- ・ えるぼし認定（3段階目）を取得する
- ・ 女性管理職比率：10%を実現する



外国籍社員

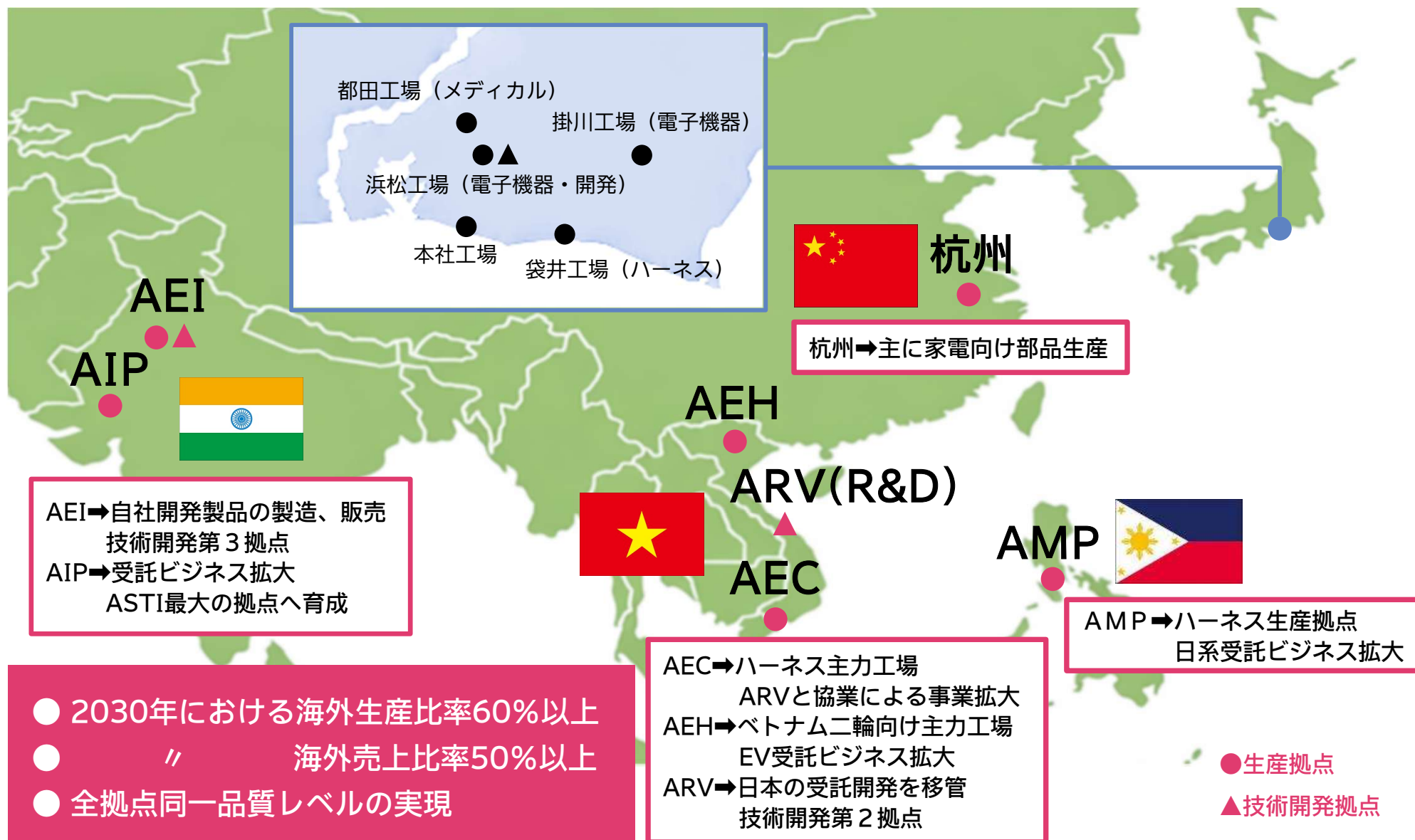
海外との連携強化のため、

- ・ 外国籍正社員比率：5%以上とする
- ・ 外国籍正社員を最低1人管理職に就ける

<今後の対応>

- ・ 新卒採用対応の強化
- ・ 教育制度の充実
- ・ 生活環境のサポート

3. 2030年の生産体制



- 2030年における海外生産比率60%以上
- // 海外売上比率50%以上
- 全拠点同一品質レベルの実現

4. 数値目標



売上・利益目標

*グループ連結 単位：億円

	2025年度実績	2026年度計画	2028年度計画	2030年度目標
売上高	624	580	630	750
営業利益	13	10	20	30
純利益	7	7	14	21

連結財務目標

	2025年度実績	2026年度計画	2028年度計画	2030年度目標
資産	450	455	500	550
負債	200	200	225	250
資本	250	255	275	300

株主還元方針

連結営業利益の20%ないし自己資本（純資産）の1%の高い方を基準として配当を行う。
2026年度より、株主優待制度を実施する。